

5月号

学校 だより



大和市立草柳小学校

自分の思いを表現する

校長 寺山 智子

4月18日に令和5年度全国学力学習状況調査が実施されました。この調査は「全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る」ことを目的として実施されています。今年度の問題をご覧になった方もいらっしゃるかと思いますが、国語では記述の問題が3問ありました。どれも資料をもとにして考えをまとめるものですが、子どもによってはかなり苦戦している様子が見られました。

最近話題に取り上げられている「Chat GPT」ですが、AI 知能を使ったチャットサービスで質問をすると自然な日本語で答えを返してくれるそうです。きっと学力状況調査で問われたような記述問題も難なく回答することでしょう。一部の行政機関では「Chat GPT」を試験的に導入することを決定したとの報道もあります。そんな時代に学力状況調査で自分の考えを文章にまとめることを出題するということは、「考える」「書く」「伝える」ことは、小学生のうちにしっかりと身につけなければいけない力であるからです。

文章を書くときには自分の思いが正確に読み手に伝わるかを考えて言葉を選びます。読み手は文章の内容を理解しながら、書き手の伝えたい思いも読み取ります。それが子どもたちにとっても苦手意識を感じる原因の一つとなっていると思います。また、私の選ぶ「言葉」とほかの人が選ぶ「言葉」は同じ時もあれば違う時もあります。それが難しさでもありますが、その人の個性としてあらわれます。学校教育で「言葉」にふれ、文章の書き方を学ぶ意味はここにあると思います。

子どもたちが社会に出るときには、人工知能 (AI) がさらに進化し、生活に身近になっていると思います。AI と上手に付き合い、自分の考えをより正しくわかりやすく言語にして、相手に伝えられる力を育てていきたいと思えます。